

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

# わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより平成 25 年 12 月 27 日発行

## 1月の主な行事予定

1月11日(土)、12日(日)

東伯郡スポーツ推進委員研究大会(三朝町 湊泉閣)

1月18日(土)、19日(日)

船上山ウィンターフェスティバル(船上山少年自然の家)

1月22日(水)~2月28日(金)

社会教育主事講習(まなびタウンとうはく、船上山少年自然の家他)

## 社会教育団体活動助成事業について(実践報告)

東伯郡社会教育協議会では、社会教育活動の充実を期待し、意欲ある団体に対して交付金事業を行っています。今年度助成した2団体の活動を紹介します。

### ① みささ青空体験塾(7/20) (報告 里山地域研究会代表 山田道治さん)

この事業は、毎月第3土曜日に児童の居場所作りと自然体験を兼ねて行っています。今回は三朝西小学校の児童と保護者などが参加し、65名がバスに乗って蒜山に向かいました。蒜山では薪割りや吹き竹を使って炭火をおこす体験グループ、プール遊びのグループ、釣りのグループに分かれ活動しました。3つの活動が終わり、みんなでバーベキューをして楽しみました。よく見ると先ほど子どもが釣り上げた「はえ」が2匹、網の上ののっていましたが、しばらくして網を見るとすでに誰かが食べた後でした。子どもたちは大満足だったようで各家庭では会話が弾んだことでしょう。



吹き竹体験!  
意外と竹が長いなあ。息が続くかなあ。



はえがたくさん釣れたよ。これ食べられるの?



手作りの滑り台は楽しいな。



活動した後のバーベキューは最高。はえが網の上に…。

09会(レク会)は、2009年度の東伯郡小学校PTA会長の有志が集まり発足しました。毎年、郡内のどこかの小学校に集まり、自分たちが楽しみながら奉仕活動や交流活動を行っています。今年は琴浦町立以西小学校で、体育館といの清掃とプレーパークでの自然体験を実施しました。

11月23日(土)、メンバー11名が集まり、船上山や大山を望みながら作業をしました。まずは、体育館の屋根に上がり、とくに詰まった泥や落ち葉をきれいにしました。



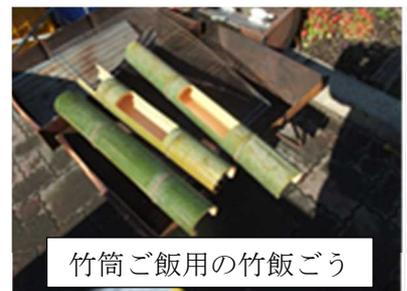
体育館といの掃除

清掃作業終了後、早速、竹ジャングルジム、竹筒ご飯、竹とんぼなどに使う「竹」を切り出しに近くの竹林へ行きました。途中ロープワークの実習もありました。

いよいよ、「竹ジャングルジム」の制作にかかります。今回は4mの高さの「竹ジャングルジム」に挑戦。その切れ端で、竹筒ご飯用の竹飯ごうづくりをしました。



ロープワーク実習



竹筒ご飯用の竹飯ごう

以西の子どもたちは遊びの天才です。余った竹を切り、ハンマー投げのハンマーを作っていました。また、竹の節を取り除く子どももいました。「何かな?」と思って聞いたら、どうやら「そうめん流し」のようです。今までの体験がよっぽど楽しかったのでしょうか、弓矢づくりや木の実工作、べっこう飴づくりなど、遊びがどんどん広がっていきました。



プレーパークの終わりは、「おやじバンド」コンサート。子どもたちは熱心に聞き入ってくれました。

大人も子どもたちも、一緒になって遊んだ1日でした。



「おやじバンド」コンサート



竹ジャングルジム

### 感動をありがとう!

以西の子どもたちのいろいろなアイデアに、大人の方がビックリ。中には、元気がよすぎて裸足で半日過ごす子どももいました。子ども達がおやじ達の仕掛けにまんまとはまってくれ、おやじ達は大満足。一方で、それ以上に大人が「竹とんぼ」や「べっこう飴」、「木の実」づくりに夢中になっている姿に、私は心の中で大きなガッツポーズをしてしまいました。

最後に行ったおやじバンドの「ふるさと」大合唱は、この行事に参加して下さった皆様の心の中に「素晴らしいふるさと・以西小」を印象づけるものでした。子どもたちは、「遊び」の中で「ふるさと」を感じます。「ふるさと」を感じた子どもたちには自然と優しい心が育まれます。この子達の「ふるさと・以西小」には、そんな優しい風が吹いていました。

来年(26年度)は、三朝町のどこかでお会いしましょう。

# 「子どもゆめ基金」助成金の紹介

「子どもゆめ基金」は、子どもの健全育成を進めるために、キャンプや科学実験教室などの体験活動や絵本の読み聞かせなどの読書活動への支援を行っています。

平成25年度は、4,646件の申請があり、3,517件が採択されました。平成26年度事業からは、郵送による申請に加え、電子申請システムを利用した申請も可能となりました。1次募集は既に終わっていますが、2次募集は平成26年5月1日(木)から6月23日(月)までです。詳細につきましては「子どもゆめ基金」でHPを検索してください。

○問合せ 独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金部助成課 0120-579018

○HP <http://yumekikin.niye.go.jp/>

○助成実績(中・四国地区) <http://yumekikin.niye.go.jp/koufu/h25/chuugoku1.html>

## ちゅうぶくん

～お正月の過ごし方～



## 子どもゆめ基金助成金

「子どもゆめ基金」は、未来を担う夢を持った子どもの健全育成を進めるため、民間団体が実施する自然の中でのキャンプや科学実験教室などの体験活動、絵本の読み聞かせなどの読書活動などへの支援を行っています。

### 助成の対象となる活動

- ①子どもの体験活動…キャンプや自然観察などの自然体験活動  
科学実験教室などの科学体験活動  
文化・芸術、スポーツ等を通じた交流を目的とした活動  
清掃活動などの社会奉仕体験活動  
地域の商店街・農業・漁業などの職場体験活動 など
- ②子どもの読書活動…読み聞かせ会、読書会活動 など
- ③子ども向け教材開発・普及活動  
…インターネット等で利用可能なデジタル教材を開発し、普及する活動

### ●平成25年度 申請・採択状況

助成区分	申請件数	採択件数	採択率
①子どもの体験活動助成	4,011	3,042	75.8%
②子どもの読書活動助成	571	463	81.1%
③子ども向け教材開発・普及活動助成	64	12	18.8%
合計	4,646	3,517	75.7%

### 助成の対象となる団体

社団法人、財団法人、NPO法人、法人格を有しない地域のグループ・サークルなど、青少年教育に関する活動を行う民間の団体が助成の対象となります。

### ●平成25年度 団体種別申請状況

団体種別	申請率	採択率
法人格を有しない団体	9.8%	64.7%
法人格を有する団体	25.5%	

### 助成金募集案内・その他

- 助成金の募集案内は、子どもゆめ基金ホームページからダウンロードするか、子どもゆめ基金部助成課までご請求ください。
- 平成26年度募集より、電子申請システムを利用した申請受付が始まります！10月1日(火)より開始(予定)。詳しくは子どもゆめ基金ホームページをご覧ください。
- ※電子申請システムを利用して申請を行う場合は、事前にID申請が必要です。お早めに申請を行ってください。

子どもゆめ基金 検索

### 【あとがき】

先日、中部地区卓球大会で20代の若者と試合をしました。相手のパワーボールを打ち返すたびにまだいけるんじゃないかという錯覚に陥りました。昔のような勝負はできませんが、こんなプレーがしたいと理想を追い求めていると練習にも熱が入ります。年代を超えて、真剣勝負ができることはありがたいなあとつくづく思いました。

来年もよい年をお迎えください。(岸本)

中部教育局 社会教育担当

電話 0858-23-3253

FAX 0858-23-5203

E-mail [kishimoto-r@pref.tottori.jp](mailto:kishimoto-r@pref.tottori.jp)

